

1. 計画の背景と目的

錦帯橋は、延宝元年（1673）に造られ、年間 60 万人以上の観光客が訪れていますが、多くの来訪者の観光行動は河川敷の駐車場に駐車したのち、錦帯橋を渡り横山地区に入り、岩国地区に立ち寄ることなく次の目的地に移動しているのが現状です。また、岩国地区をはじめ岩国城下町では高齢化が著しく、コミュニティの活力も低下しつつあります。

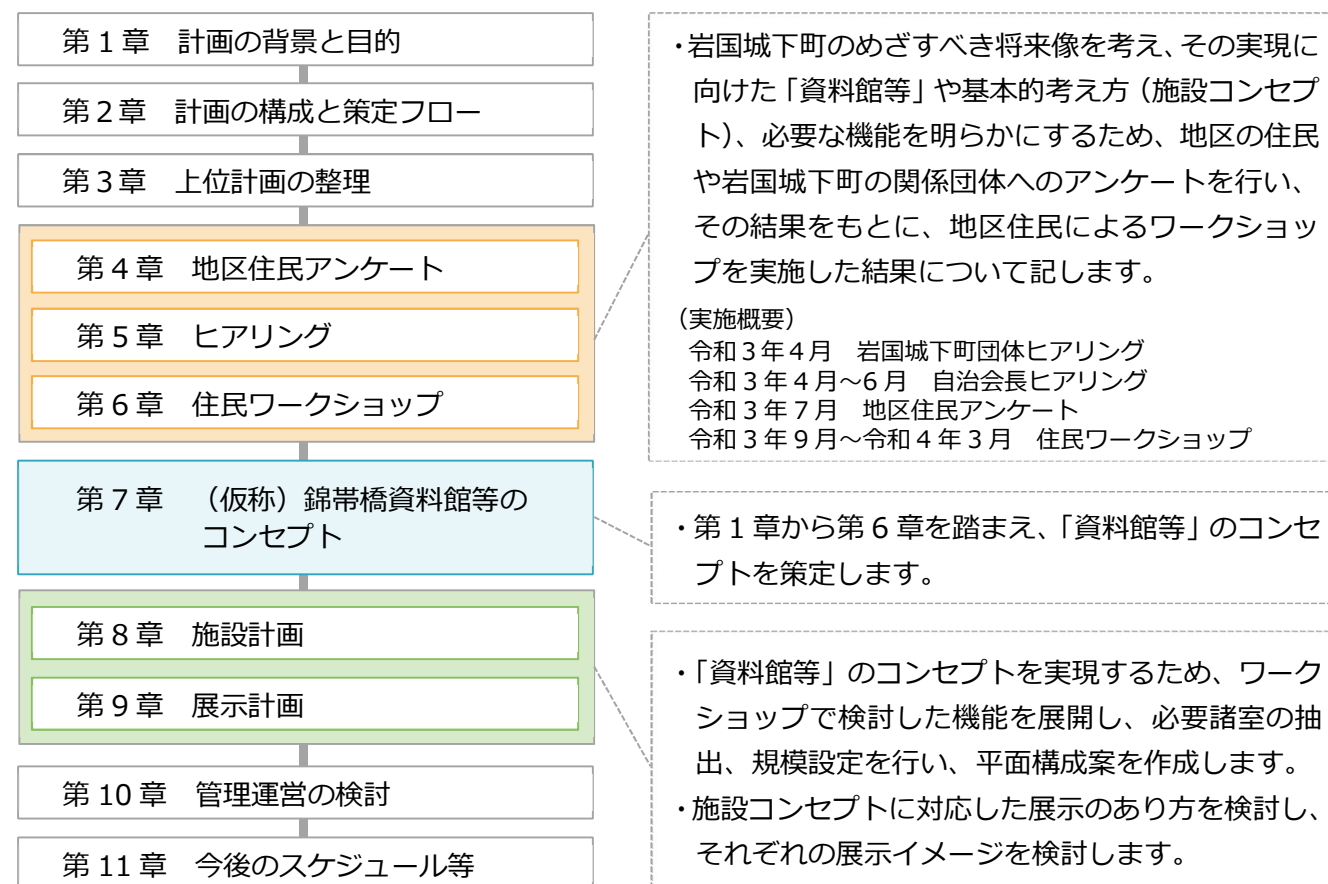
そのような中、平成 26 年（2014）策定の「錦帯橋みらい計画」において、次代を担う子どもたちを含め、錦帯橋の構造を常時学ぶことができ、それに加えて地域の伝統文化も学習・体験できる地域密着型の常設展示資料館が必要とされました。

また、平成 28 年 3 月策定の「岩国地区にぎわい創出施設の在り方検討」において、城下町地区の課題解決に向けて「城下町地区のフィールドミュージアム化」をめざし、錦帯橋を中心とした「ストーリー性のあるまちの回遊」を実現する「錦帯橋と岩国城下」遊学を基本的なまちづくりの考え方とし、歴史文化情報発信や城下町地区の回遊性の創出の機能を持つ賑わい創出施設がその拠点施設として位置づけられました。

本基本計画は、当施設を（仮称）錦帯橋資料館等として具体化することを目的としています。



2. 計画の構成と策定フロー



3. （仮称）錦帯橋資料館等のコンセプト

錦帯橋と岩国城下町回遊の拠点（ビジターセンター）

一行してみたくなる岩国城下町の魅力の紹介

本市では（仮称）錦帯橋資料館等整備事業が、岩国城下町の再生、活性化の契機となることをめざしています。そのためには、岩国城下町の地域住民の方々や、関連する施設を運営する方々が、めざす岩国城下町の将来像を描き、それを実現するために（仮称）錦帯橋資料館等が果たすべき役割を明確にすることが必要です。

（仮称）錦帯橋資料館等の役割

● 錦帯橋の魅力を訪れた人々にわかりやすく紹介し、岩国城下町回遊の拠点施設とします。

（仮称）錦帯橋資料館の施設内では、錦帯橋の魅力を訪れた人々にわかりやすく紹介します。普通では気がつきにくい錦帯橋の匠の技や、錦川をはじめとした自然や文化との関わり、岩国城下町の成り立ちなどの歴史、岩国城下町の魅力や見どころを紹介し、訪れた人々が実物をみて体験したい、城下町を歩いてみたい、と思うような岩国城下町回遊の拠点施設とします。

● 岩国城下町地区の賑わいを創出する拠点施設とします。

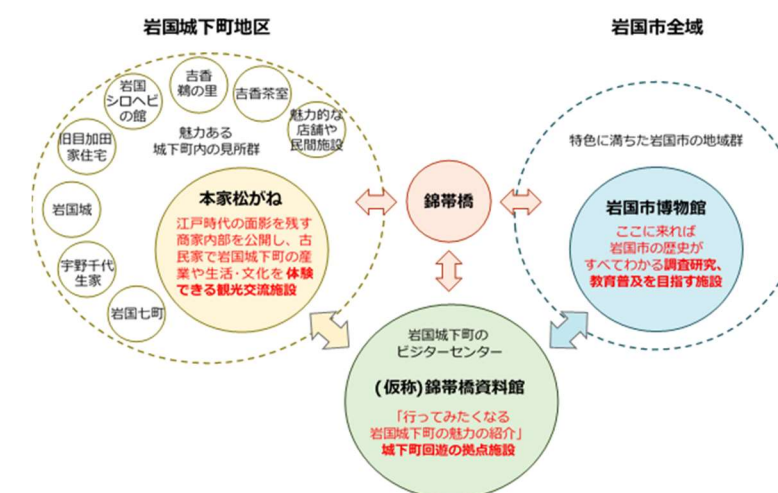
隣接するエントランス広場は、岩国城下町地区の賑わいの創出につながる催しの開催や、地域の伝統芸能を発表する場として活用します。（仮称）錦帯橋資料館等を拠点として、岩国城下町全体に、来訪者も地元の人々も利用できる施設が展開され、地区の賑わいの創出とともに、歴史的建造物の保存と利活用につながることを期待されます。

また、錦帯橋の世界文化遺産登録活動の P R 拠点として、その価値を広く発信し、後世に伝えていく機能を併せもちます。

4. 周辺施設とのネットワークの形成

（仮称）錦帯橋資料館は、錦帯橋と岩国城下町回遊の拠点（ビジターセンター）であることから、岩国市博物館の他にも数多くの施設とのネットワークを形成します。

これらの諸施設を含む回遊拠点として、それぞれの魅力を紹介し、訪れた人々を現地に誘います。



5. 施設計画

機能

施設機能		役割
来訪者向け機能	展示・案内機能	・来訪者と城下町を結ぶ橋渡し ・来訪者への見どころ案内
	体験展示機能	・錦帯橋、城下町を楽しく学ぶ
	便益機能	・城下町観光のサポート ・城下町のお土産紹介
地域・来訪者 共用機能	休憩・交流機能	・地域住民の気軽な交流を生む
	エントランス広場機能	・朝市などの開催 ・伝統文化の発表
	公園・緑地機能	・緑地の確保 ・屋外での休憩
その他	管理機能	・施設の管理 ・錦帯橋の資料の収蔵・保管

土地利用

- ・敷地は、バス通り側敷地、中央敷地、大明小路側敷地の3つの敷地で構成されます。
- ・バス通り側敷地をエントランス広場として、椎尾神社南側駐車場からの入り口とします。
- ・中央敷地に（仮称）錦帯橋資料館を配置します。
- ・大明小路側敷地を（仮称）岩国一丁目広場として、資料館と一体的利用を行います。



各施設の概要

① エントランス広場

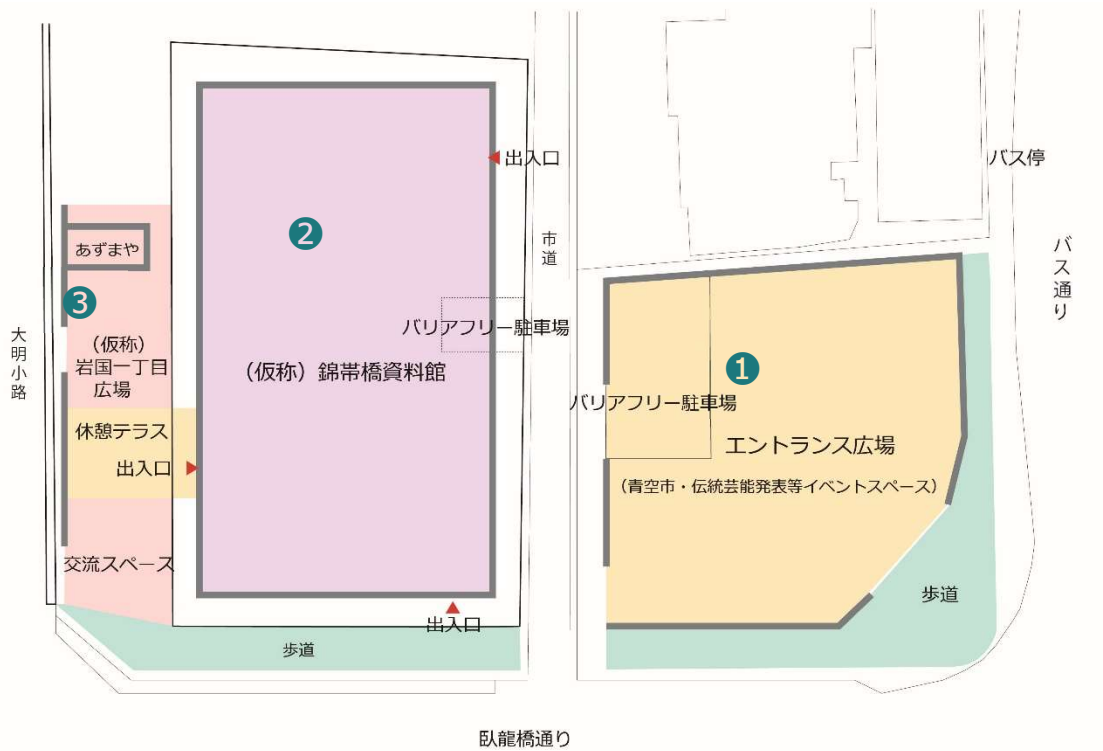
- ・新たに整備される椎尾神社南側の駐車場と連携した岩国城下町のエントランス機能を持ちます。
- ・エントランス広場では、市民の活動も想定し、青空市や伝統芸能発表等イベントスペースとして活用します。
- ・バリアフリー駐車場を整備します。

② （仮称）錦帯橋資料館

- ・出入口は南東角に風除室を設置し、エントランス広場・臥龍橋通りからの動線を確保します。
- ・資料館を起点に城下町を回遊するためのロッカーコーナー、インフォメーションカウンター、ショップコーナーを設置します。
- ・岩国城下町や岩国ゆかりの人物を紹介や、体験などができる展示ホール、錦帯劇場をイメージしたシアタールーム、VR等を活用して錦帯橋や岩国城下町、文化的景観の展示を行う展示室、錦帯橋架け替えのための型板等を保管する資料室を設置します。
- ・錦帯橋の1/5模型の組立体験や伝統芸能等の練習、各種講座や会議等の利用ができる多目的室を設置します。

③ （仮称）岩国一丁目広場

- ・岩国城下町の街角広場として、大明小路とつながった城下町回遊の起終点となる広場とします。
- ・資料館と一体となって来訪者や地域住民の憩いの広場とします。



施設規模

施設機能、必要諸室の抽出から施設規模を設定すると、（仮称）錦帯橋資料館の規模は約1,200㎡と想定します。

6. 展示計画

展示の基本的考え方

岩国城下町にはさまざまな歴史・文化を紹介する施設が点在していることから、(仮称) 錦帯橋資料館では、錦帯橋について詳しく知っていただくとともに、岩国城下町を中心とした観光の拠点として計画します。

入り口である1階では、今に残る歴史と文化を紹介するとともに、街歩きの際に立ち寄りやすいスポットなど、楽しく岩国城下町について知っていただけるコーナーとします。

2階では、錦帯橋の美しさや価値、岩国城下町と文化的景観などについて詳しくすることができ、現地を訪れた際に、より楽しめる知識を学べるコーナーとして計画します。また、多目的室は錦帯橋 1/5 模型の組み立て体験や、地域の伝統芸能の練習など、市民も利用できる空間として設けます。

各階展示イメージ

○ 1階展示イメージ

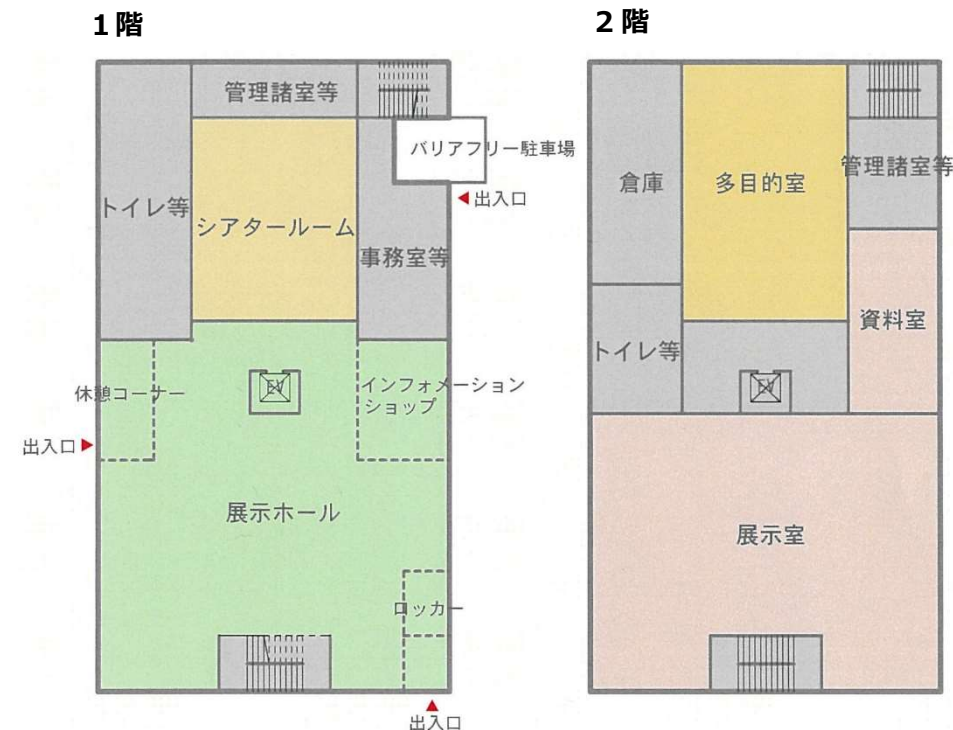
<シアタールーム>

多面の臨場感ある映像で見せるコーナーです。イベントやセミナーなど、多目的に使用できる機能も備えます。



〈映像内容〉錦帯橋や町の四季の美しさ／錦帯橋のしくみについて／城下町の成り立ち 等

【平面構成イメージ】

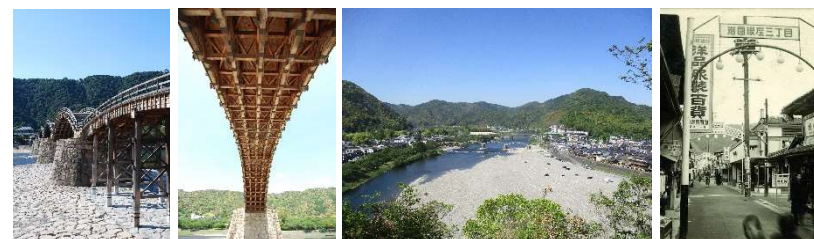


<展示ホール>

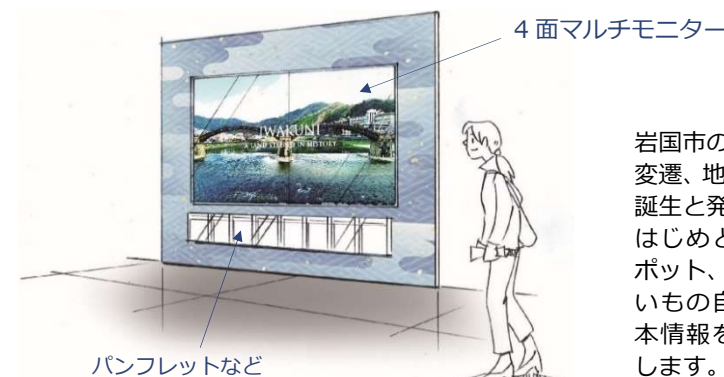
デジタルを使用した体験展示案

・ VR（バーチャルリアリティ）による展示

VRにより錦帯橋の構造や岩国城下町の移り変わりの歴史を紹介します。



・ 岩国観光ウェルカム・マルチモニター

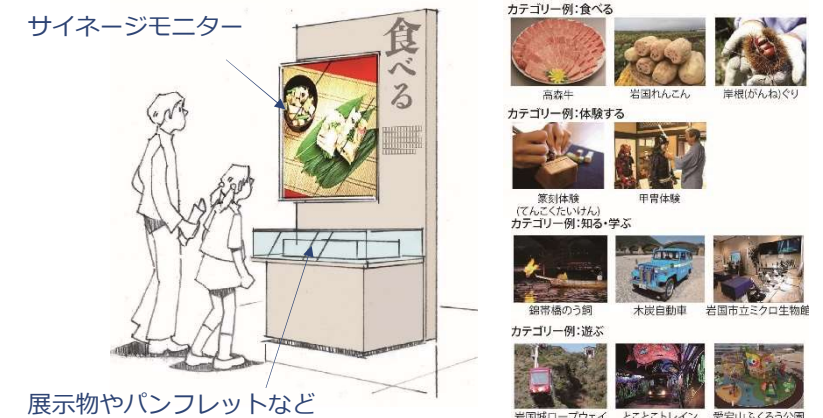


岩国市の歴史、沿革の変遷、地理、城下町の誕生と発展、錦帯橋をはじめとする観光スポット、グルメ・うまいもの自慢などの基本情報をガイダンスします。

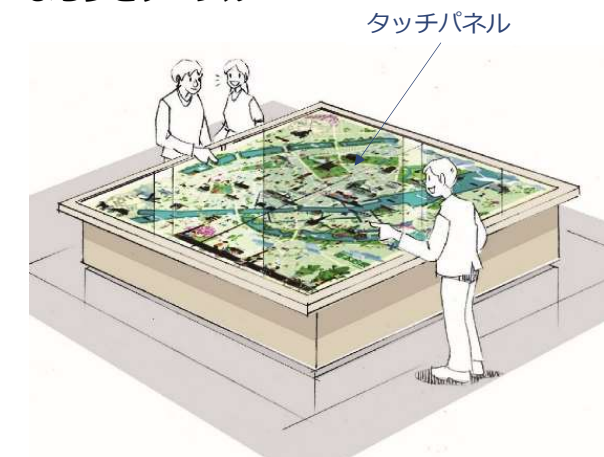
岩国城下町の紹介

・ 観光スポット紹介

カテゴリーでわかりやすく分類し、サイネージモニターで情報を映像提供します。



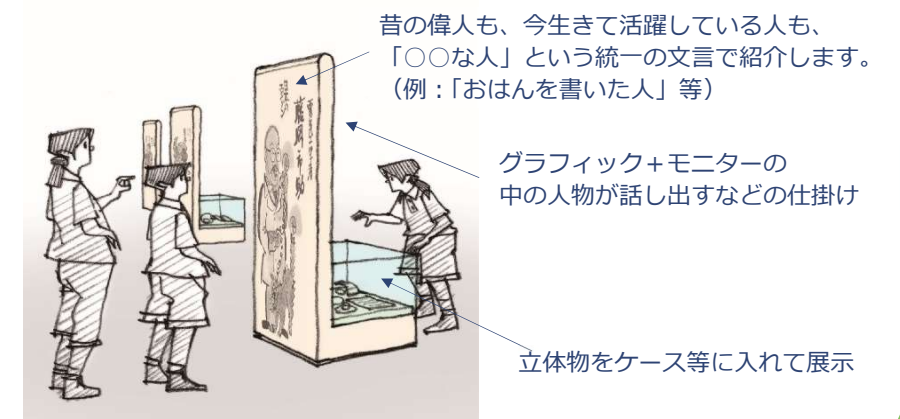
・ まち歩きテーブル MAP



テーブル型のタッチパネルモニターを使って、まちの地図のポイントにタッチすると、現在地である資料館から、目的地までのルートと、目的地の紹介がポップアップウィンドウで画面に現れます。

・ 岩国ゆかりの人物紹介

岩国出身の偉人や、岩国で活躍する人を紹介する展示です。



○ 2階展示イメージ

<展示室> <資料室>

文化的景観と錦帯橋について、デジタルによる体験展示などにより紹介します。

・ 岩国城下町と文化的景観

懸作りの町屋ジオラマ

岩国特有の家の作りや、土手の様子など、街中を歩いているだけでは気づきにくい構造などについて解説します。

岩国クイズ

クイズ形式で錦帯橋と岩国城下町の仕掛けについて出題し、タッチパネル形式で回答していただきます。

・ 錦帯橋について

錦帯橋接合部分模型

接合部分を拡大で見せることで構造にも興味を持っていただける展示とします。AR で組み方や錦帯橋全体の様子などが見られるコンテンツも付加します。

錦帯橋組み方体験

キネクトを使用し、錦帯橋を組み立てる体験ができる仕掛けです。組み立てる際の順番などを理解できる体験です。

<多目的室>

錦帯橋の 1/5 模型組み立て体験や、岩国城下町に伝わる地域の伝統芸能の練習など、多目的に使用できるスペースです。

イメージ▶



7. 管理運営・今後のスケジュール等

管理運営の基本的考え方

● (仮称) 錦帯橋資料館等のコンセプトを実現する運営を行う

- ・ 錦帯橋の魅力や技術をわかりやすく伝えることに努めます。
- ・ 岩国城下町来訪者に対してまちの魅力を紹介し、来訪者が岩国城下町を回遊することができるよう、きめ細やかな対応やサービスを提供します。
- ・ だれもが利用できるユニバーサルデザインに配慮した運営を行います。
- ・ 地域住民にも岩国城下町の歴史や文化を理解してもらえるよう、気軽に来館できるサービスを提供します。

● 地域との連携により、効果的な運営を行う

- ・ 城下町のお店の紹介や、旬な情報を地域住民と連携して、来訪者や地域に提供します。
- ・ 南条踊りや小糠踊りなどの伝統芸能の継承のための稽古や発表の機会等アピールする取組みを、地域と連携して行います。

● 岩国城下町活性化のためのネットワークを形成する

- ・ 岩国市博物館、岩国シロヘビの館、岩国城、宇野千代生家等、岩国城下町を理解してもらえる施設とのネットワークを形成し、岩国城下町回遊の拠点となる運営を行います。

● エントランス広場の活用を促進する

- ・ エントランス広場では、青空市場やキッチンカーによる飲食の提供、伝統芸能の発表等、市民や来訪者が楽しめるイベントを企画します。

開館形態

開館日時

- ・ 岩国城下町を回遊する拠点として、多くの人々が利用できるよう、開館時間や休館日を検討します。
- ・ 岩国城下町の滞在時間を増やすために、季節やイベント等と連携した開館時間の設定を検討します。

利用料金

- ・ 今後、展示施設の内容や運営方針を決定していく過程で検討します。

管理運営方式

公的施設の管理運営手法については、一般的に市直営方式、管理委託方式、指定管理者方式、第3セクター方式等が考えられ、今後検討していきます。

今後のスケジュール

令和2年度～4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度以降
基本計画策定	基本設計	実施設計	工事着工～竣工 開館準備

概算工事費

概算工事費は、エントランス広場整備工事約1億2千万円、(仮称) 錦帯橋資料館整備工事約9億5千万円、(仮称) 岩国一丁目広場整備工事約4千万円、全体で約11億1千万円と想定しています。